

(様式4)

令和7年度 第1回 大阪市立野中小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 野中小学校

校園長名 打川 和美

日 時	令和7年4月30日(水) 18:00~19:00	
場 所	野中小学校 3階 図書室	
出席者	委員など	小澤 明(会長) 辻川 松子(委員) 山本 瞳(委員) 藤村 卓樹(委員) 新田 歩美(委員)
	校園	打川 和美(校長) 金子 俊彦(教頭)
	区役所	堀 俊一(健康推進担当課長)
議題	(1) 開会の言葉 (2) 会の成立 (3) 区役所より連絡 (4) 運営に関する計画について (5) その他 (6) 閉会のあいさつ	
協議要旨	協議の結果	
	(1)	○開会の言葉
	(2)	○会の成立の確認。 委員6名中5名出席。
	(3)	○区役所よりお知らせ。 ・今年度から担当者が変わった。 区役所としてできることを考えながら会議に参加していきたい。
	(4)	令和7年度運営に関する計画について報告し、承認が得られた。 今年度については、中期目標に掲げたものを達成する年になる。目標に掲げているものを達成できるように取り組んでいく。 ○「安心・安全な教育の推進」についての2つの取り組み「安心・安全な教育環境の実現」「豊かな心の育成」と、それぞれの指標の説明を行った。
		意見の概要
		・身だしなみについては、児童への呼びかけだけでなく、PTAと連携して、家庭からの協力を得られるようにする必要がある。 防寒着の着用を可とするなど、学校のきまりの中で見直すところは見直し、しかし、だらしなくならないように、身だしなみを大切にしていきたい。 ・HPでは、学校の活動の様子が分かるように工夫されている。先日の遠足の際には、帰ってきた児童が「ただいま!」と大きな声であいさつをしていた。今年になって大きな声であいさつできる児童が増えてきた。これは、今までの学校の取り組みの成果と言っていいと思う。

	<p>○「未来を切り拓く学力・体力の向上」についての2つの取り組み 「誰一人残さない学力の向上」「健やかな体の育成」と、それぞれの指標の説明を行った。</p> <p>○「学びを支える教育環境の充実」についての3つの取り組み 「教育DX」「生涯学習の支援」「家庭・地域等との連携・協同した教育の推進」と、それぞれの指標の説明を行った。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・反復横跳びやソフトボール投げが課題と話があったが、体力がついていないのに技術を教えても身につかない。まずは、体力をつける取り組みが大事。外で遊ぶことが体力づくりになる。外で遊ぶ日を決めたり、遊ぶ時間を決めたりして外に出る機会を増やしてほしい。 ・人の役に立つひとになりたいと思うかというアンケートの質問があるが、低学年にとっては難しい質問である。「はい」と答えていても本当にそう思っているか、考えて答えているかわからない。アンケートを答えるときにわかるように説明がひとつある。 ・デジタル化が進み、本を読むことが少なくなった。デジタル化の弊害はないのか。 ・デジタル化は、国としても取り組むように言われているので、進めなければいけない。全国学力・学習状況調査がもうすぐパソコンを使って解答するようになる。 ・単語1つでも意味の取り方が違う。文字だけでとらえてしまうと真意が見えないまま伝わってしまうことがある。文字に慣れ親しんでほしい。
(5)	その他	・淀川区は、今はたくさんの学校があるがもう少ししたら統合され学校数が少なくなる。今後も子どもは減っていく傾向にある。選択制はあるが、地域としてのやりにくさがあり、今後の統合による校区の変更などを見据えていかなければいけない。
(6)	○閉会の言葉	
協議資料	<p>○令和7年度 大阪市立野中小学校 第1回学校協議会次第</p> <p>○令和7年度 運営に関する計画</p>	
備考	<p>傍聴者[0]名</p> <hr/>	